

# みどりの風

令和2年5月27日（水） 発行人：校長 角田 亮明

緑  
の  
誓  
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

## 緑の誓い：『進んで勉強します』の定着を目指して②

進んで勉強する姿勢や構えを育てるために絶対に必要なのが「家庭学習の習慣化」です。なぜなら、今の子ども達が各学年で学ばなければならない学習内容の量は、保護者の皆様が小学校時代に学んだ量に比べるとかなり増えており、授業中の学びだけでは確実な定着に繋がらないという現実があるからです。授業で学んだことを家庭学習で復習し、さらにスキルタイム等で習熟を繰り返す。そういう連動の中で定着を図っていくことが必要なのです。学びの繋がりの習慣化が、前号に記した「分かる」に繋がっていくのです。

さて、緑丘小では、家庭学習の指針を右表のように定めています。音読や文字・計算練習などの宿題にどの位の時間がかかっていますか？ また宿題とは別に、予習や復習を中心とした自主学習に取り組んでいるのでしょうか？ 家庭学習の目安時間は最低ラインを示しているとお考えいただきしっかり家庭学習ができるよう支援願います。

家庭学習の習慣化は、子ども達の「主体的に学ぶ姿勢の形成」に直結します。しかし、子ども達任せにしても定着はなかなか図れません。そこで家庭学習に取り組む姿勢を定着させるために、次の4点についてご家庭で実践して下さい。

- ①「勉強しなさい」と言い続けて下さい。
- ②「勉強時間」を決めて守らせて下さい。
- ③「勉強の様子」を見守ってください。
- ④「勉強したか」必ず確認して下さい。

宿題を出したり、家庭学習の仕方を教えたりすることは学校でできます。しかし、実際にやっているかどうか確認したり、やりさないと意欲を高めたりすることは家庭でなければできません。その場での指導や支援が絶対に必要です。

決められた時間に自ら机に向かい、課せられた課題の解決に取り組み、最後まできちんとやり通せたら、しっかり褒めてください。例え、問題解決の仕方が分からずに途方に暮れても、チャレンジしたことを褒めてあげてください。解決の仕方は、学校で先生に再度尋ねればいいのですから。逆に、適当に済ませようとしたり、ごまかしてサボろうとしたら、厳しく指導してください。負けないで下さい。ダメなものはダメです。

緑丘小の子ども達に身に付けさせたい資質・能力の一つに『耐性』が挙げられます。耐性を育てるには、適度に負荷をかけ、我慢をさせ、できるまで続けさせる指導が必要です。きつなくても、やりたくなくても、しっかり家庭学習に取り組む姿。『耐性』そのものです。

### 宿題と家庭学習

家庭学習の時間のめやす	
低学年	30分～40分
中学年	40分～60分
高学年	60分以上

**宿題**は毎日出ます  
「読む」「書く」「計算」  
などの基本的な技能の定着を！

**自主学習**で創意工夫を  
自分で課題を見つけて学習する  
力を育てたいと思っています。  
「予習」「復習」  
に取り組む習慣作りを！